

# 鳥越啓介 + 田中邦和

contrabass

tenor sax

2017 11月23日(祝木)

開場 14:30

開演 15:00~

(2ステージ 入替なし 途中入場可) (1drink=600円~)

MC 2800 円+2drinks order

CAFE **B**EULMANS

03-3484-0047

info.cafebeulmans@gmail.com

東京都世田谷区成城6-16-5-2F

メールでのご予約の場合、  
必ず当日ご連絡がとれる電話番号を  
ご記載ください。



## 鳥越啓介

岡山県玉野市生まれ。高校時代、吹奏楽部に入学しコントラバスを弾き始める。高校卒業後、社会人の傍ら地元のピックバンドなどで活動。96年脱サラ、97年上京。99年PHATのメンバーとなり、2001年東芝EMI Blue Noteレーベルよりメジャーデビュー。シングル1枚、アルバム2枚を残し、2003年渋谷クラブクアトロでのワンマンライブを最後に解散。その後は、ジャズ・邦楽・ポップス・タンゴ・ブラジル音楽などその豊かな才能を駆使し、国内のみならず海外公演も含め、自らのバンドを展開し、また様々なセッションやレコーディングに参加。繊細且つ大胆でハーモニーを感じさせるその演奏は、コントラバスという楽器の固定概念に捉われず、独奏楽器としての更なる可能性を追い求め、幅広い音楽活動を行っている。9月に初のDUOアルバム「木魂」が発売され、益々注目されるユニットとなっている。

## 田中邦和

1966年生まれ。学生時代に楽器に親しみ、その後数年のビジネスマン生活を送った後にフルタイムのミュージシャンとなる。当初より独学で楽器を修め、あらゆるサクソ（そして他の木管楽器）を演奏する。ジャズ、ポップス、ロック、映画音楽、即興演奏等の幅広いジャンルに関わり続け、そのすべてにおいて若者からビッグネーム達と共演を重ねる。自分のサウンドを追求したいという姿勢はすべての現場において、独自のスタイルで多くを俯瞰すると評されるまでになる。メロディ、楽曲を大事にする歌手とのコラボレーション、楽器の可能性を追求する即興演奏等、身体と脳の描く世界を大切に築き上げて来ており、その成果はソロから多種編成にわたる録音作品においても聴く事ができる。日本国内のメジャーなジャズクラブ、コンサートホールでの演奏以外にも、フジロック、モンタレー、ロンドン、ニューヨーク他の国内外のフェスティバルにも参加している。近年は邦楽器、中東の民族楽器の演奏にも興味をもちはじめ演奏を始めている。  
www.kuni-kuni.net